



の行事予定

4月～10月の帰宅時刻 午後5時

TEL 忠類小学校 01558-8-2209

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	火	あゆみ配布	17	木	CIR スワディ号
2	水	水6日課	18	金	
3	木	学芸会特別時間割開始 CIR スワディ号	19	土	幕別町教育の日 学芸会
4	金	後期児童会総会	20	日	
5	土		21	月	振替休業
6	日		22	火	
7	月	CIR 分掌会議	23	水	水6日課 クラブ 研修日
8	火	秋の身体測定	24	木	CIR たてわり読書 中学校職業体験受け入れ
9	水	水6日課 職員会議	25	金	中学校登校日(6年生)
10	木	CIR たてわり読書 就学時検診	26	土	
11	金	児童会	27	日	
12	土		28	月	CIR
13	日		29	火	
14	月	スポーツの日	30	水	水6日課
15	火		31	木	CIR
16	水	水6日課 学芸会総練習			



しらかば

「新しいつながり」(学園目標)

～豊かな心もち 自ら求め 自ら考え 自ら行動する たくましい子ども～

・毎月19日は、幕別教育の日(地域の皆様の1日参観日です。散歩のついでにぜひお立ち寄りください)

・毎月19日は、ノーテレビ・ノーゲーム・スマホルール確認の日(親子でルールをご確認ください)

ちゅうるい学園
幕別町立忠類小学校
学校便り
令和6年9月25日
第553号

「秋の足音 前期の終わり」

校長 浪内 洋一

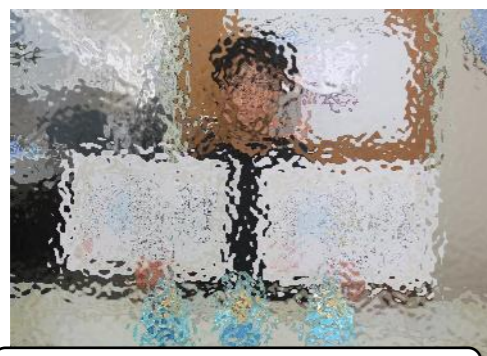
2学期が始まって、早くも1ヶ月が経ちました。
暑かった夏も終わりを告げ、朝晩の気温の低下、日没の早まりなど、秋への移ろいが感じられる今日この頃、子どもたちは、マラソンの練習に励みました。体育の時間だけでなく、朝活動や休み時間などにも進んでグラウンドに飛び出し、練習に取り組んでいました。
24日(火)のマラソン記録会では、練習の成果を発揮し、最後まであきらめず、ゴールまで走り抜く子どもたちの姿が見られました。人手が少ない中、保護者の皆様にお手伝いをいただきました。たくさんの方々のご協力や応援、温かい見守りのおかげで無事に実施できたことに、心より感謝申し上げます。

先日、ちゅうるい学園の第2回学校運営協議会がありました。加藤会長をはじめ運営委員の方々にご参加いただきました。
前期の教育活動の振り返りや学園評価アンケートの結果について、熟議しました。委員の皆様からの貴重なご意見、地域の子もたちを大切に育てたいという強い思い、そして、児童や保護者の皆様、教職員の評価を真摯に受け止め、子どもたちのために、地域・家庭・学校、そして教育委員会と連携・協働しながら、今後の教育活動につなげていきます。
なお、学校評価アンケートの結果につきましては、別ページに掲載しておりますので、ご覧ください。

もうすぐ、前期が終わります。子どもたちには、あゆみが配られます。前期の活動を振り返り、成果を更に良い方向へ、課題にはどのように取り組んでいくとよいか等、後期の前向きな取組につなげるための指針としていただけると幸いです。
令和6年度も残すところあと半年、子どもたちの「自立」に向け、我々教職員も全力でがんばりますので、皆様の変わらぬご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

※今年度も、加藤建設様、山崎様のご協力により、「シーニックカフェ」の体験学習を行うことができました。お忙しい中、ありがとうございました。

各種活動のがんばりを紹介!



カヌー・OP ヨット
さん

おめでとうございます!

ロイロノート活用研修(校内実技研)

一人一台端末を利用した学習で、今年度からロイロノートという授業支援ソフトを使った授業を行っています。今までも、ソフトに関する研修会などに積極的に参加してきましたが、忠類小学校の校内研修として実技研を実施しました。講師として、ロイロノート認定教員であり、十勝のロイロノート活用団体のリーダーでもある札内南小の山口稔人先生を講師に招き、様々な活用について学びました。



9月の取組

9月も、たくさんの教育活動がありました！

ゴミ収集車の学習（3・4年生）

社会科の学習で、家庭から出たごみが、どのように処理されていくのかという内容がありますが、五十嵐興業様の協力を得て、（9月12日）にゴミ収集車の学習をさせていただきました。分別についての説明や、収集車やパッカー車について詳しく教えていただきました。子どもたちは、みんな興味津々に学習に取り組んでいました。昨年度、子どもたちが考えたデザインを収集車に貼っていただいております、今年度も同様の取組を行っていきます。



この日のために、パッカー車の中を洗浄して、色の塗り直しまでしていただいたとのこと、本当にありがとうございました。

後期児童会役員選挙

9月19日（木）に後期児童会役員選挙がありました。立候補したのは、総勢9名。立会演説では、立候補者、責任者がそれぞれ演説を行いました。子どもたちは、公約をしっかりと聞いて、投票を行っていました。



後期児童会三役が決定しました！
 会長 長田 颯介 さん（6年）
 副会長 千葉 陽斗 さん（5年）
 書記 野坂 怜音 さん（6年）

マラソン記録会

9月24日（火）に全校でマラソン記録会を行いました。低学年は1km、中学年は1.5km、そして高学年は2km走ります。みんな、日々の練習の成果を発揮して、自己ベストを目指して一生懸命に走りました。コース途中で観察のご協力をいただき保護者の皆様、そして、がんばる子どもたちを応援くださった保護者のみなさま、本当にありがとうございました。



令和6年度 1回目 ちゅうるい学園 忠類小学校評価 集計結果

No.	評価項目	児童平均	保護者平均	教職員平均
ちゅうるい学園 めざす子ども像（あたま：知） 探究心をもち 想像力をはたらかせ 自ら学ぶ子ども				
1	人の話をしっかり聞き、自分できちんと考え、積極的に発表することができる。	3.1	3.1	3.3
2	学校で学んだことを、日頃の生活に生かすことができる。	3.2	3.0	3.0
3	日頃、いろいろなことに疑問をもち、どうしてなのかを考えることができる。	3.3	3.1	3.2
ちゅうるい学園 めざす子ども像（こころ：徳） 礼儀と感謝の心をもち 優しい気持ちで 人を思いやる子ども				
4	返事やあいさつ、感謝の気持ちを素直に表すことができる。	3.5	3.2	3.5
5	他者への思いやりの心をもって優しい気持ちで生活することができる。	3.3	3.6	3.4
6	まわりの人と積極的にかかわり、仲良く過ごすことができる。	3.4	3.3	3.2
ちゅうるい学園 めざす子ども像（からだ：体） 健康でたくましい体をもち 根気強く チャレンジする子ども				
7	規則正しい生活習慣が身についている。	3.1	3.5	2.9
8	日頃から体を動かしたり、バランスのとれた食事をとったりするなど、健康に気をつけたり、体を鍛えたりする習慣が身についている。	3.3	3.3	3.2
9	新しいことや難しいことにチャレンジし、あきらめずに努力する習慣が身についている。	3.3	3.1	3.4
ちゅうるい学園 めざす子ども像（ふるさと：郷土） 夢と誇りをもち 仲間と未来を語る ふるさとを愛する子ども				
10	自分のことや、家族や仲間のことを大切にし、役割を果たそうとする姿勢が身についている。	3.5	3.5	3.4
11	「ふるさと学習」に進んで取り組み、ふるさとに愛着をもって生活している。	3.0	2.9	3.0
12	夢や目標をもち、それに向かって努力する姿勢が身についている。	3.5	3.0	3.0
～考察～				
児童の結果から				
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが自らの行動や習慣に対して高い評価を持っていることがわかります。全体の平均は3.3点で、自己肯定感が強い傾向が見られます。特に「返事やあいさつ」、「自分や家族、仲間を大切に役割を果たす姿勢」、「夢や目標を持ち努力する姿勢」の項目は3.5点と高く評価されています。これらは、子どもたちが日常生活で他者とのコミュニケーションや自己管理の態度や習慣をしっかりと身につけていることを示しています。 一方、「ふるさとに愛着を持って生活している」という項目は3.0点と他の項目に比べやや低めです。地域への愛着や関心を深めるためには、地域との関わりを増やす活動の強化が必要です。また、「人の話をしっかり聞き、自分で考え、積極的に発表することができる」という項目もやや低めの評価を受けています。これは、他者の意見を尊重しつつ自分の考えを発信することに課題があることを示唆しています。今後は、教室でのディスカッションや意見交換の機会を増やし、発言しやすい環境を整える必要があります。 これらの結果を踏まえ、児童一人ひとりがより充実した学校生活を送れるよう、さらなる改善を図っていきたくと考えています。 				
保護者の結果から				
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの日常生活や基本的な習慣に高い評価を与えていることがわかります。「他者への思いやり」や「規則正しい生活習慣」、「家族や仲間を大切にし、役割を果たす姿勢」の項目では高評価が得られており、子どもたちが日常生活で他者との良好な関係を築き、家庭や学校での役割を果たしていることが示されています。 しかし、「ふるさと学習への取り組み」や「学校で学んだことを生活に生かす力」、「夢や目標に向かって努力する姿勢」といった項目では評価が低く、子どもたちが学んだ知識やスキルを実生活に効果的に応用できていないと感じることがうかがえます。また、地域社会やふるさとへの愛着が十分に育まれていないとの懸念も示されています。これらの課題に対し、家庭と学校が連携し、学びと実生活を結びつける機会を増やすことや、地域に根ざした学習や実地体験の充実が必要です。 さらに、「他者の話をしっかり聞き、考え、発表する力」や「新しいことや難しいことへの挑戦心」に対しても、保護者は改善の余地があると感じています。これに応じて、学校は子どもたちに意見を表明する機会を増やし、挑戦を奨励する環境を整えることが重要です。 総じて、子どもたちの基本的な生活習慣に対しては高く評価されていますが、学んだことを実生活に応用する力や、地域社会への関心の育成に課題を感じています。学校としては、これらの点を改善し、より実践的な学びを提供することで、保護者の期待に応え、子どもたちの総合的な成長を促進することが求められます。 				
教職員の結果から				
<ul style="list-style-type: none"> 「返事やあいさつ、感謝の気持ちを素直に表す」、「他者への思いやりの心を持ち、優しい気持ちで生活する」、「新しいことや難しいことにチャレンジし、あきらめずに努力する」といった項目が高く評価されています。これらは、児童が人間関係や挑戦心の育成に成功し、健全な生活習慣をしっかりと身につけていることがわかります。 「規則正しい生活習慣」、「夢や目標に向けた努力」といった項目では、今後の教育で改善が必要とされています。特に「規則正しい生活習慣」に関しては、他の項目と比べて評価が低く、家庭との連携を強化し、改善に向けた指導が重要となります。 「学校で学んだことを日常生活に生かす」、「ふるさと学習に取り組み、地域への愛着を持って生活する」という項目においても、学校での学びをどの程度実生活や地域社会に応用しているかが課題です。学校教育がより実践的で生活に関連性を持つ内容になるような工夫が必要です。特に、地域に根ざした学習や実地体験を増やすことが、ふるさとへの愛着を育むだけでなく、学んだ内容を実生活に応用する力を高める指導が重要です。 「人の話をしっかり聞き、自分で考え、積極的に発表する」、「いろいろなことに疑問を持ち、どうしてなのかを考える」といった項目は、比較的良好な評価を得ていますが、自主性や発表力のさらなる向上が必要です。この点については、学級内でのディスカッションの機会を増やし、児童が自由に発言しやすい環境を整えることが求められます。 				